

村政を問う 一般質問 …………… 7

行政と観光局の役割は／大町病院の現状把握と対策は／小学6年生までの医療費無料化実現を／循環シャトルバス「元気号」とは／誰がどのように責任をとりますか／二期目の村政のかじ取りは／スポーツ少年団への支援は／国の戸別所得補償制度は

はろば
白馬
議会だより
91号

平成21年第4回定例会 …………… 1

議決結果 …………… 5

私の思い出 …………… 16

わたしのひまわり …………… 17



1808万円減額

本会議での質疑

● 一般会計補正予算

問 (渡辺俊夫) シャトルバス利用料(収入)が増額

になっていますが、再度説明を。

答 (横澤観光農政課長) 元

気号冬物語一人当たりの利用料が2000円ということで、公共交通会議で決定しています。(2000円×3000人の乗車)

* 一般会計等補正予算の議案

* 条例制定の議案

* 承認

* 請願・陳情等

* 意見書提出の発議

* その他

* 一般質問

4件

1件

4件

11件

7件

4件

8名

問 (渡辺俊夫) オリジナルピクニックの具体的な内容は、

篠崎スポーツ課長は、

答 (篠崎スポーツ課長) 選手を応援する企画として、多目的ホールに特設会場

を設け、大画面での映像を見ながら応援をする(パブリックビューイング) 設営委託、

横断幕・懸垂幕・のぼり旗の設置、出場選手を紹介する映像とチラシの製作委託を予定

しています。

問 (渡辺俊夫) 除雪事業にある融雪剤の発注先

答 (倉科建設水道課長) 低塩化物有機酸系融雪剤

が山田工務店、塩カル(塩化カルシウム)と呼ばれている融雪剤が矢木コーポレーションです。

問 (渡辺俊夫) 塩カルと塩カルでない融雪剤という

ことですか。塩カルの比率

答 (倉科建設水道課長) 昨年までは、環境に優しい酢酸系を使用していました

が、製造会社が閉鎖されたことにより、低塩化物有機酸系(塩化物が塩カルより少ない)を使用し、単価の低い方を優先的に撒いていきたい。比率はこれからです。

問 (渡辺俊夫) 山田工務店・矢木コーポレーションとも、初めての取引先

ですか。

答 (倉科建設水道課長) 山田工務店は、今年初め

です。

● 飯田交流センターの指定管理者の指定

問 (渡辺俊夫) 指定管理者となる団体の所在及び名称とありまして、そこに区

長となつていますが、指定期間は22年から27年になっていますが、区長個人ということになるのですか。毎年更新するのですか。

答 (横澤観光農政課長) 区長個人ということではなく、飯田区の代表者として

区長名にしてありますので、改選されても、そのまま引き続いていくということであり

● 議会会議規則の一部改正

問 (渡辺俊夫) この規約改正にあたっては、指導

を受けた機関がありますか。

答 (高橋議会運営委員長) 特にありません。

平成21年度 補正予算

本会議での討論

●EPA・FTA推進路線の見直しを求め、日米FTAの推進に反対する請願

賛成討論 (小林英雄) 先般、

国連食糧農業機構が地球上の飢餓人口が10億人を超えたと発表しています。世界的な食糧危機の背景には、一番目に地球温暖化による異常気象による収穫の減少、二番目に中国やインド経済発展と食糧消費の大幅な増加、三番目はバイオ燃料のブーム、四番目は投機マネーの暗躍などが考えられます。その根底に、WTO (世界貿易機関) の原理は、世界は十分な食糧を生産しているという前提に立って効率的に生産できる国で食糧を作り、非効率な国の農業は、つぶれた方が望ましいという自由貿易の原理に立っています。日本の食糧自給率は最低レベル、耕作放棄地は全農地の1割に達しています。このような日本農業の危機的状況

反対討論

(篠崎久美子) 日本の

食糧自給率については、廃棄食糧までもすべて数値の中に含まれており、実質的食糧自給率は、言われている数値よりも高いものと思われると思います。また、農産物貿易の自由化反対は、自国の保護主義政策に走りかねない危険

が日本の食の基盤を極めて脆いものにしていきます。今日の困難を作り出したのは、アメリカと財界の言いなりに国内生産を縮小して国民の食糧を際限なく海外に依存する政策をとり続けた結果だと思いません。

性もはらんでおり、現在の諸外国との外交・バランスの中では、簡単に結論付けることのできないものでもあります。確かに食糧政策上の諸問題は、日本国民にとっても、世界にとっても非常に大事な問

題であることに間違いはないことではありますが、それはFTA交渉のみの見直しだけで解決する問題ではなく、自国内の政策と合わせて行っていくべき大局的問題であると認識いたします。

●「所得税法第56条の廃止を求める意見書」採択を求める陳情

賛成討論 (渡辺俊夫) 地域、

そして国を支えているのが中小零細企業です。その保護に努めるのは当然です。また、青色・白色の申告方法は個々の事情に合わせての選択が自由です。差をつける必要はないと考えます。

反対討論 (太田伸子) 中小業

者において、青色・白色申告の選択は自由になっています。白色申告を選択した場合、収支内訳書を決算書として提出するだけで原則記帳義務はありません。青色申告を選択した場合は、正規の簿記による帳簿の記帳の義務が発生します。しかし、特典として「青色申請事業専従者給与に関する



観光局の取り組み状況を全員協議会で (12月15日)

る届出書」を申請すれば事業に従事に見合った給与が家族従事者にも給与の支払いが認められ経費に計上することができま。申請することにより損益計算書・貸借対照表を作成し正しい決算をすれば、家族従事者も労働に見合った所得が得られ、社会的にも経済的にも自立することはできま。す。

●後期高齢者医療制度の廃止を求める陳情

賛成討論 (渡辺俊夫) 国として持続可能な社会を念頭に、年齢を問うことのない一元化した社会保障制度というものを持つべきです。国の新たな施策の早期実現に向けて、基礎地域、即ち村からも声を上げるべきだと考えます。この現行の制度自体が様々な問題を抱えていることは、新しい政権化でのマニフェストに謳われていることでも明らかです。

反対討論 (柏原良章) 廃止に伴う新たな制度検討により、厚労省で「高齢者医療制度改革会議」というものがスタ

トしています。厚労省の政務3役は、現制度は廃止するか、年齢で区分する問題を解消する等の六原則の提示が示されています。後期高齢者医療制度を廃止し、以前の老人保険制度に戻した場合、市町村の国民健康保険の財政は、一段と悪化させていくものと考えられます。広域化の組織により運営がようやく軌道に乗った状況であり、廃止によりかえって混乱を招く恐れがあるとされます。

●後期高齢者医療制度の即時廃止と生活実態に見合う年金支給を求める陳情

賛成討論 (渡辺俊夫) この陳情に関しては、前の陳情と同様などころがあります。現行の後期高齢者医療制度によって、大きな負担を強いることになった年金生活者を救済しなければならぬのは国の役割です。

反対討論 (篠崎久美子) 制度を別建てにすることで、国民健康保険の膨らみ続ける赤字を緩和することに役立っています。自分たち自身で大事な

医療保険制度の破たんを早期に呼び込まぬように気をつけることがまず必要です。年金は決して生活実態に見合っていないとは思えません。生活が苦しいと感じているのは年金生活者ばかりではなく、この不況は国民全体の生活に及んでおり、年金者を支える現役世代の実質的負担は非常に重くなっています。無年金者や低年金者のうち、実際の生活困窮者については年金以外の福祉制度等の活用により救済する方法もあります。高齢者世代のみのことを主張し、その結果現在の社会を支える現役世代までも実質的に苦しめる結果となります。

●議会会議規則の一部改正

反対討論 (渡辺俊夫) 住民に信頼され、期待され存在感のある議会を目指すべきであります。大町及び松本市議会その他の議会規則条例には、同様なものが記されています。

大町市議会においては、発言通告書の適用は、一般質問のみで、討論については、採決前日昼までの口頭通告になっ



21年夏にゲートボールを楽しむ高齢者

ています。全国町村議会議長会が主導する第2次地方議会活性化研究会の最終報告に「分権時代に対応した新たな町村議会の活性化の方策あるべき議会像を求めて」という報告があり、その中に一般質問に関しては事前通告制の廃止、また質疑・討論に関して本会議の討論活発化のため一問一答方式の採用、議長

の発言許可に弾力的運用、本

議会での意見表明、規約・規制の撤廃等々が謳われています。

賛成討論 (太田 修) 村議会は、会議規則及び申し合わせ事項を遵守し、円滑な議会運営に取り組むため、会議規則の一部を改正するものです。特に、一般質問における一問一答方式は、執行機関と対面することにより、迫力と緊張感が生まれています。

感が生まれています。

このような審議がありました

総務社会委員会

● 国民健康保険事業勘定 特別会計補正予算

収入・支出それぞれ308万1千円を増額するものです。

主な内容は、特定健康診査等事業214万1千円です。
▽ 賛成全員で可決と決定。

産業経済委員会

● 下水道事業特別会計補正予算

地農業用施設災害復旧事業△2864万8千円です。
▽ 賛成全員で可決と決定。

● 水道事業会計補正予算

収入・支出それぞれ502万円を増額するものです。
▽ 賛成全員で可決と決定。

● 水道事業会計補正予算

収益的支出を△12万4千円、資本的収入及び支出を137万4千円増額するものです。
内容は、H20年度借り入れした企業債償還額の確定によるものです。
▽ 賛成全員で可決と決定。

新型インフルエンザ 418万円

● 一般会計補正予算所管事項

収入・支出それぞれ205万9千円を増額するものです。
主な内容は瞬時警戒システム整備事業121

7万5千円、心身障害者福祉事業486万7千円、福祉医療給付事業450万円、新型インフルエンザ対策事業418万8千円、配食サービス事業△364万円、地域生活支援事業△525万6千円、子育て応援特別手当交付金△951万円、南部保育所解体事業△653万2千円及び職員等手当の減額です。
▽ 賛成全員で可決と決定。



完成した飯田交流センター

道路維持補修 750万円

● 飯田交流センター条例の制定

11月末に完成した飯田交流センターの設置及び管理に関する条例を制定する

ものです。
▽ 賛成全員で可決と決定。

● 一般会計補正予算所管事項

収入・支出それぞれ1602万5千円を増額するものです。

主な内容は、森林整備地域活動支援交付金347万3千円、道路維持補修事業750万円、除雪事業260万8千円と、災害査定により、集中豪雨災害に伴う林道施設・農



● 議 決 結 果 ●

件 名	議決結果
村議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正	承認 (賛成全員)
特別職の職員で常勤の者等の給与に関する条例の一部改正	
一般職の職員の給与に関する条例等の一部改正	
一般職の職員の給与の特例に関する条例の一部改正	可決 (賛成全員)
北アルプス広域連合規約の変更	
飯田交流センター条例の制定	
一般会計補正予算	
国民健康保険事業勘定特別会計補正予算	
下水道事業特別会計補正予算	
水道事業会計補正予算	
飯田交流センターの指定管理者の指定	可決 (反対:渡辺、小林)
村議会会議規則の一部改正	
「義務教育費国庫負担制度の堅持」を求める意見書	可決 (賛成全員)
30人学級の早期実現、教職員定数増を求める意見書	
核兵器の廃絶と恒久平和を求める意見書	
市町村国保の改善を求める意見書	
電源立地地域対策交付金制度の交付期間延長等を求める意見書	
非核三原則の早期法制化を求める意見書	
非核三原則の早期法制化を求める決議	
長野県独自の30人規模学級の中学校全学年への早期拡大と複式学級の解消、県独自に教職員配置増を求める意見書	

第1回臨時会

1月25日開催

● 地域情報化施設の設置及び管理に関する条例の制定

村の行政運営に関する各種情報を総合的かつ計画的に提供することによって、住民の生活、文化、教育等の向上を図り、もって住民福祉の向上に寄与するため、各種情報の総合的な提供を行う有線テレビジョン放送法に基づく有線テレビジョン放送施設及び村内の情報通信環境の充実を図るために、各種通信サービスを提供する電気通信事業法に基づ



初場所 国技館で「白馬関」を応援

く電気通信施設を備えた地域情報化施設を設置するものです。
 国の緊急経済対策として「地域情報通信基盤整備推進交付金」の交付決定を受けたので、この条例を制定し、2月から加入促進及び加入手続き設計事務等に対応していきたいというものです。利用料は月1600円。
 ▼ 賛成多数で可決と決定。

● 請 願 ・ 陳 情 等 文 書 ●

提出者	住所	要 旨	所管委員会	審査結果
長野県教職員組合大北支部白馬単組 代表 川又 智恵	白馬村	「義務教育費国庫負担制度の堅持」を求める請願	総務社会	採択（賛成全員）
長野県教職員組合大北支部白馬単組 代表 川又 智恵	白馬村	30人学級の早期実現、教職員定数増を求める意見書提出に関する請願	総務社会	採択（賛成全員）
農民運動長野県連合会中信農民センター 組合長 倉橋 芳和 事務局長 滝澤睦広	安曇野市	EPA・FTA推進路線の見直しを求め、日米FTAの推進に反対する請願	産業経済	不採択（賛成：渡辺、小林） 保護主義に走りかねない懸念もあり、外交上慎重な結論を出したほうが良い。
日本労働組合総連合会長野県連合会 会長 近藤 光 連合長野大北地域協議会 議長 久保田日出雄	長野市 大町市	核兵器の廃絶と恒久平和を求める陳情	総務社会	採択（賛成全員）
長野県商工団体連合会婦人部協議会 会長 小野百合子 北アルプス民商婦人部 部長 種山千恵子	長野市 大町市	「所得税法第56条の廃止を求める意見書」採択を求める陳情	総務社会	不採択（賛成：渡辺、小林） 中小業者において所得税法上、申告方法は自由で、第56条を廃止すれば不正申告の助長などにつながる恐れがある。
白馬建設業組合 組合長 塩島 正	白馬村	公共工事等における入札制度の改善を求める陳情	産業経済	継続審査（賛成全員） 文面に不明瞭な点がある。実勢価格に見合った失格基準価格を設定、村道除雪業務における契約期間の見直しが必要です。
長野県社会保障推進協議会 代表委員 熊谷嘉隆 坂本隆久 鈴木信光 高村 裕 松澤秀紀 渡辺一信	長野市	後期高齢者医療制度の廃止を求める陳情	総務社会	不採択（賛成：田中、渡辺、小林） 老人保健制度を見直したうえでスタートした制度であり、高齢者だけに負担を求めている訳ではない。廃止は不可能です。
長野県社会保障推進協議会 代表委員 熊谷嘉隆 坂本隆久 鈴木信光 高村 裕 松澤秀紀 渡辺一信	長野市	市町村国保の改善を求める陳情	総務社会	採択（賛成全員）
全日本年金者組合 中央執行委員長 篠塚 多助 長野県本部委員長 松沢 秀紀 大北支部委員長 井川 恵右	東京都 長野市 松川村	後期高齢者医療制度の即時廃止と生活実態に見合う年金支給を求める陳情	総務社会	不採択（賛成：渡辺、小林） 年金は、国・地方も含めての議論が必要であり、一時的な支援による対応ではなく、総合的に検討すべき問題です。
ダム・発電関係市町村全国協議会 会長 辻 一幸	東京都	電源立地地域対策交付金の拡充・延長等に関する要望	総務社会	採択（賛成全員）
長野県原爆被害者の会 会長 前座 良明	松本市	非核三原則の法制化を求める議会決議・意見書採択のお願い	総務社会	採択（賛成全員）

一般質問 (紙面の都合上、質問者本人が要約し掲載しています)

村政を問う

活力ある
村づくりをめざして



オリンピック出場"おめでとう" (全日本学生スキー大会閉会式)



白馬町どんど焼き (1月16日)

観光問題

問 行政と観光局の役割は

答 行政は支援、局は振興と推進



太田 修議員

【観光局】

問 局による意見集約と周知方法は。

答 メールやファック
ス・定時社員総会でご
意見をいただき、「観光局だよ
り」とホームページで情報を
提供しています。

問 観光関連産業の振興
は。

答 来秋に、県とJR東
日本と連携し、「信州デ
ステイネーションキャンペーン」
、首都圏・大阪の店舗に白
馬の商品を展示販売する「白
馬セレクト」及び「白馬村新
民宿宣言プロジェクト」をグ

ラインシーズンに向けて準備
中です。また、郷土食の復活
と白馬小径ルートの再検討を
行っています。

問 スキーシーズンへの
取り組みは。

答 「白馬しろまフェス」
・
白馬からの贈り物」
「白馬ミュージックウィーク」
の開催及びナイトシャトルバ
ス「元気号・冬物語」を運行
します。

問 行政と局の役割は。

答 行政は局の事業が円
滑かつ速やかに展開で
きるようバックアップをする
組織、局は観光の振興・推進
です。

問 局と「庄屋丸八」の契
約内容は。

答 契約期間は、平成23
年11月末までの3年間
で、貸借料は、1年目月額5
万円、2年目7万円、3年目

10万円です。
「岳の湯」の食堂営業
の再開は。
振興公社で運営して
いる施設全体を、総合
的に判断していきたいので、
しばらく時間をいただきたい。

【高齢者世帯の支援対策】

問 情報通信基盤整備事
業計画に伴い、福祉面
の活用は。

答 福祉分野で活用でき
る計画にはなっていま
せんが、今後「IP告知放送シ
ステム」の活用を目指す前提
条件として、村内全域に光ブ
ロードバンド環境の統一化を
図るものです。

問 高齢者住宅の火災報
知器の設置確認と費用
支援は。

答 設置状況の確認は
行っていないので、民
生委員等を通じて事前に把握

し、対応することが必要です。
村として補助は考えていませ
ん。

【新年度予算編成】

問 グリーンスポーツの
森施設の維持補修は。

答 「岳の湯」も含めて、
地域の皆様とともに将
来計画を
立ててい
きたいと
考えてい
ます。新
年度も施
設の維持
管理に関
する必要
経費の予
算計上を
予定して
います。

問 村営グラウンドは。

答 南部グラウンドは土
の入れ替えと石の除去
等、北部グラウンドはベンチ
の増設等を、新年度予算及び
実施計画の中で検討してい
きます。



南部グラウンド（沢渡）

医療問題

問 大町病院の現状把握と対策は

答 広域連合の業務を通じて支援



篠崎久美子議員

父子家庭数は。

村長 住民福祉課の担当で、世帯数は72、うち父子世帯は11です。

問 抱える悩みや問題の把握と解消に積極的に

行政が行動していますか。

村長 相談窓口としては、福祉事務所に母子自立支援員兼女性相談員がいますし、住民福祉課と民生児童委員もその機能を持っていると思います。

問 「ははそはの会」の活動と加入父子世帯数は。

村長 父子会員はいません。活動内容は親睦を深めることを目的としています。

問 一人親の悩みは子どもにも影響を与える事になりかねず、その早期の解消は大事であると思われ

ますが。

村長 相談しやすい雰囲気づくりと、福祉事務所

問 把握する担当課とその家庭数は。そのうち

【一人親家庭】

村長 危機的状態にある病院の現状把握と対策は、医師不足については、同病院も医師確保を積極的に推進していると聞いています。村としては、同病院を二次医療圏を担う中核病院と認識しており、北アルプス広域連合の業務である「病院群輪番制病院運営費補助事業」を通じて支援している状況です。

の専門員の活用を広く周知し、早い段階で相談ができる

よう努力します。

【教育委員会】

問 学校、PTA等との意思疎通の方法は。

教育長 小・中学校とは校長・教頭会議を月1回開催し、必要により連絡調整を

図っています。PTAとは村内4校の校外生活指導連絡会、PTA連合会連絡協議会が開催されているなかで、要望や意見をお聞きしています。今年度は、教育委員会事務局が各学校に出向き、校長・教頭との面談をしました。

問 教育委員会の役目とその位置づけは。

教育長 様々な教育関連事務処理の遂行であり、職務執行状況の点検及び評価を行い、公表してありますので、ご意見をお寄せいただきたいです。

問 PTAの具体的要望の把握は。また、風通しの良い教育現場をつくるための教育委員会としての今後の方向性は。

教育長 常に学校との連絡を密にし、その都度調整をしています。全てが希望どおりにいかないこともご理解をいただきたいと思います。今後については、村の実情や教育環境に応じた教育振興基本計画の策定に取り組んでいきたいと思っています。



医師不足に悩む大町病院

福祉医療

問 小学6年生までの医療費無料化実現を

答 来年度予算編成の重点施策の一つ



小林英雄議員

【来年度予算編成】

問

重点施策は。

村長

情報基盤整備事業と、福祉・教育・観光に重点を置くよう方針を伝えました。

問

県は入院の場合の子ども医療費について、小学校3年生まで無料化を決めました。通院の場合を含め、対象年齢を6年生まで引き上げることは十分可能だと思えますが。

村長

重点施策の一つとして、段階的に対象年齢を引き上げて行きたいと考えています。

問

若者が希望を持って定住できるような、村としての独自の施策が必要だと思えますが。

村長

景気が冷え込む中、若者の定住・雇用対策は難しい問題です。観光の活性化が鍵を握っていると考えますが、なかなか即効性のある対策がとれない社会情勢です。

問

村の事務事業評価委員会の検討状況は。

総務課長

年に4〜5回開催をしています。200のすべての事業を見るわけにはいかないで、委員から40〜50選んでいただいています。

問

委員会の評価結果について、村としてどう評価しますか。

村長

評価書を担当課で評価をし、平成22年度予算に反映させていきます。

【村長公約の自己評価】

就任から3年半、3つの公約は、ほとんど実現していないように思われますが、自己評価は。

村長

「観光産業の活性化」

については、観光局長の一般公募、廃屋撤去費用の補助、観光客対象のナイトシャトルバス運行、白馬小径の再生、庄屋丸八の復元、6スキー場のライブカメラ設置などを行いました。局長を迎えたこの一年、局はイベント実施の作業部隊から戦略を立案し実施する組織へと大きく転換しました。時間はかかっていますが、良い方向に進んでいると確信しています。「身近な行政の創出」については、村民目線で対応できる職員教育、村長のメールアドレスとFAX番号公開・提言箱設置のほか、役場に専門の

総合窓口案内係を置きました。「情報公開」では、今後地域通信情報基盤整備に取り組みますが、貢献してくれると思っています。また、事務事業評価、村内29地区での住民懇談会を行いました。「元氣な子供の創出」については、保育所の統合と保育料

の大幅引き下げ、通園バスの導入、障害児の保育環境の充実、子育て相談事業などを行いました。公約は永遠の課題であり、3年や5年で完了するものではない。私としては、3年間にそれなりの実績を上げてきたと自負しています。



冬の白馬南小学校

経済問題

問 循環シャトルバス「元気号」とは

答 観光交通システム構築として運行



太田伸子議員

【元気号】

冬季村内循環バス「元気号」の利用対象者の設定・運行時間・運行ルートは。

村長

利用者については、外食による村内商店等の活性化が見込める海外観光客や長期滞在観光客及び中・高校生の下校時利用を想定しています。平成21年12月19日から平成22年3月7日の毎日運行し、運行便数は3ライン13便で、運行時間は午後4時から11時台としています。一部を除き白馬駅を発・終着として、利用客の見込める和田

野・エコーランド・八方宿泊

エリアを經由しながら五竜方面、新田方面経由のルートです。利用対象者は、村民と観光客としていますが、この冬の試験運行期間中の状況に応じて本格運行時の対象者を検討することになっていきます。

問

佐野・嶺方・切久保・

落倉など宿泊エリアがあります。ルートから外されています。循環バスと言いつつ格差がありすぎるのではないのでしょうか。中・高校生の下校時利用になるのでしょうか。

村長

元気号は観光交通システム構築として行っているもので、村民バスとは性格を異にしています。今冬の試験運行をふまえ今後の対応については、交通会議で協議してまいります。



循環シャトルバス「元気号」

【ウイング21・村内体育館】

利用時間に夏・冬時差があるのはどのような理由ですか、また大会開催時の開館時間の変更は可能ですか。

問

利用時間に夏・冬時差があるのはどのような理由ですか、また大会開催時の開館時間の変更は可能ですか。

村長

4月から11月までは午後9時30分、12月から3月までは午後9時までとなっています。今後に向けては、夜間使用している団体等にも要望をお聞きし、来年度からの利用時間について検討してまいります。大会開催時の開館時間を早めることは、申請の段階でご相談いただき、使用者側の視点に立って配慮してまいります。

問

ウイング21アリーナの床のメンテナンスは、

村長

「とても滑って危険」との指摘には年2回の床のワックスがけに加え、滑り止め防止用のワックスを、滑りやすい箇所にかけるなどの対策をします。この効果を確認しながら利用者のけがや事故につながらないよう施設管理に心掛けていきます。

問

ウイング21の休館日（月曜日）は必要ですか。

村長

管理経費の抑制から、当面現状どおり休館日としますが、今後、利用者側の要望や動向を見ながら、休館日を設けるか否か検討してまいります。

財政問題

問 誰がどのように責任をとりますか

答 そういふ事態に今はなっていない



渡辺俊夫議員

〔大北社会福祉事業協会〕

問 収支決算書によると、保管している積立金を海外証券で運用し、大きな損失を計上しています。誰がどのように責任をとりますか。

村長 誰が責任をとるのかという事態に今はなっていないというふうに、私個人としては理解をしています。

問 定款には、資産は理事会の定める方法により管理する、とあります。理事としてどう思いますか。

村長 好ましくないというのが率直な気持ちです。

問

このような不透明な処理が行われないよう

に、広域連合で運営を行うべきであると思いますが。



大北社会福祉法人が運営する特別養護老人ホーム白嶺とディサービスセンター

村長 事業協会の理事会、評議員会等にも提言はさせていただきたいと思っています。

〔3年余の村政運営〕

問 村民にとっては観光活性化の実感が全くありません。観光客数や観光収入など実績を数値で示すことができますか。

村長 なかなか難しいのが現状です。

問 観光局と親族企業との間で賃貸契約はありますか。

村長 作業所として、(株)大系との間に於いて、平成21年9月30日付で建物賃貸借契約を締結しました。

問 契約には入札など透明性を図った手続きが行われたのですか。また、作業所とは何ですか。

村長 観光局が是非貸して欲しいとお願いをするときに、どういう形での入札があるのでしょうか。

作業所としてやることは、一つには、村外取材関係者、或いは協力者、スタッフの活動

拠点として提供する。二つめには、村外取材関係者、スタッフへ安定的な宿泊を確保してあげるということです。

問 9月議会の答弁で、局長人事に関する情報を公開するりましたが。

村長 そのような答弁は一切していませんのでお間違えのないようお願いいたします。選定に当たっては、一般公募をしながら、相応しいと思われる方々を3人に絞り込み、最終的には面接をしながら今の局長に決まった経過です。

問 来年度、局長の給与を上げますか。

村長 あの立場で他の職員と比較すると、給与として安いと感じています。

〔地域情報通信基盤整備事業〕

問 加入者は1800世帯としていますが、想定数を下回った場合は事業を中止しますか。

村長 現時点では考えていません。

村政運営

問 二期目の村政のかじ取りは

答 後援会と相談し強い意思を表明する



横田孝穂議員

【来年度予算編成】

問 任期は平成22年8月6日満了を迎えます。

二期目の村政のかじ取りを担当する決意は。

村長

未来に希望を明日に豊かさを感じることが出来る村づくり、観光立村白馬村の再構築のため、公約の実現に向けた村政運営に取り組んできましたが、まだ成果の出でない課題、また広域連合の事業である焼却施設建設、新たな行政区の設立、高規格道路の村内ルート決定等々、急がれる課題解決に全力で取り組みたいと考えてい

ます。態度表明については、その時期がくれば、後援会に相談し自分の意思を表明します。



白馬村役場庁舎

【給与・手当の適正化(減額)】

問 年度別減額制度の内容と節約額は。

村長

平成19年〜21年度減額率は村長25%、副村長・教育長14%を含め、過去8年間の減額措置、職員給与減額も、平成16〜21年度の6年間減額措置を行ってきました。給料減額は人事院勧告に準じたものではなく、職員に協力を求めてきた措置で、退職手当等への反映には問題があり、影響しないように対応しています。節約額は、特別職の報酬及び職員給与が8年間で2億3400万円、議員報酬が6年間で約1800万円です。新年度においても村特別職報酬等審議会に諮問したいと考えています。

問 定年延長と再雇用制度導入の計画は。

村長

現状では運用は行っていないです。人事院勧告の骨子からも理解されますが、すでに民間では65歳までの雇用確保が整っている企業もあり、今後は年金支給開始

年齢の支給に合わせ、定年年齢の段階的な延長や経験のある職員を再雇用する制度設計が計画される必要があると考えています。

問 平成20年度、滞納額

8億8356万円、不納欠損額9228万円であり、財政正常化は、こまめな徴収・納税相談・早めの差押え、効果が数字に表れるよう緊急の課題とすべきであると考えますが。

村長

納税相談・預金等調査・差押・公売の実施等により滞納金の徴収に努めています。徴収率が改善する状況には至っていない現状です。今後は、自主納付を推進することにより滞納金への対応強化を図っていき、村税納付の義務感について個々の感覚差があるとの不満を聞いておきます。自主納付の推進と税法に基づく早目の対応が公平性を保つことと考えています。

教育問題

問 スポーツ少年団への支援は

答 今後に向け検討していききたい



田中榮一議員

【子どもたちの

社会体育支援】

問

日本体育協会公認指導員の資格を持つ指導者により、日々スポーツを楽しみ心身を鍛え、健康で、生きる力を育まれてきた功績は大きなものがあります。団の運営はわずかな体協予算と、保護者会費で賄われており、指導者はボランティアが現状です。更なる支援が必要では

村長

指導にあたられている方々には、それぞれ家庭や仕事を持ちながら、子どもたちのために指導をいただいております。敬意と感謝をい

たしているところです。村としてスポーツ少年団活動補助は十分とは言えないものがあり、指導者の献身的な支援に支えられて今日に至っていると感じており、少しでも支援

ができるように検討していきます。

【来年度予算編成】

問

「コンクリートから人へ」と、国は大きく方向転換をし、これからは村独自の予算編成と力量も問われてくると思います。そこで各課が持っている事業予定リストを公表することから手をつけるべきでは。

村長

事業の緊急度や優先度、国・県などの補助がある有利な事業か、関係法律や制度にも照らし合わせるなどして、各課が調査し取捨選択したものの中から、更に限られた歳入の中で最大限有効

に事業を執行できるものを、予算に反映するよう心がけています。しかし洗い出しもせず公表することはいささか問題があると考えています。

問

来年度は第4次総合計画前期計画最終の年です。掲げている基本理念を

確固たるものにするため、「むらごと自然公園プロジェクト」を重点施策と位置づけ予算編成をすべきでは。

村長

毎年共通した重点施策として、予算編成や実施計画策定の際に取り組む

施策と考えています。当然「自然と共生し誰もが安らげる環境」等につながる村づくりを意識しながらの予算編成になるかと思えます。

問

里山整備事業は観光産業再構築、雇用確保

の面からも最優先事業の一つとして取り組むべきでは。

村長

里山整備を含め森林整備は大変重要な事業であり、力を入れているところです。地球温暖化対策や有害鳥獣対策が叫ばれる昨今、

間伐を進めるには今が最大のチャンスととらえ、森林所有者の理解をいただきながら、今後も積極的に推進していきます。

間伐を進めるには今が最大のチャンスととらえ、森林所有者の理解をいただきながら、今後も積極的に推進していきます。



元気に寒稽古に励む子どもたち（柔道クラブ）

農業問題

問 国の戸別所得補償制度は

答 詳細が村には示されていない



柏原良章議員

【村の農業対策】

問 民主党の発表では、戸別所得補償制度を行うとのことですが、

村長 政権交代による農業の政策転換ですが、現在、詳細が示されておらず、今まで進めてきた担い手への農地集積、集約化、効率化に矛盾との疑問もあり、円滑な移行ができるのか不安もあります。

問 村内の農地荒廃を増やさないことが必要であり、減反等による生産調整も行わなければならない状況ですが、これからの進め方は、

村長 産地確立交付金は廃止され、水田利活用自給率向上対策事業に移行されますが、転作の柱であるソバの助成金が減少する見込みがあります。遊休農地の増加を防ぐには、転作の実施は必須であり、村独自の助成を検討していきたいと考えています。

問 営農支援センターが神城支所に設置されていますが、利用度と指導内容は、

村長 平成14年度に営農支援センターを設置し、平成19年度から神城支所に移設して、農地の利用調整により効率的な土地、機械利用等を進めています。現在は認知度も高まり、様々な相談を受け付けています。また、技術的な相談は、大北農協北部営農センターで行っており、連携をとりながら機能の充実を図っていきます。

問 地区要望に道路整備・舗装補修が多く出

問 営農支援センター規約で専門家の多い運営委員がいますが、委員会で指導方法等を決めては、

問 本年度、各地で獣被害が多くなったようですが、電柵の貸出しがあまり増してもらいたいが、

観光農政課長 有害鳥獣被害に、直接効果があるものとして、電柵の設置があります。来年度も、かなり延長してやりたいという希望を聞いていますので、できるだけ努力をしていきます。

問 地区要望に道路整備・舗装補修が多く出

されています。

村長 緊急度や優先度などから判断し、3年間の実施計画にまとめて、毎年ローリングすることで予算に反映させるようにしています。
問 何年も前から同じ要望をしているのに、事

業を実施してもらえないが。
村長 新年度の予算編成に当たっては、少しでも地域要望を反映して、全村に渡って公平な配分ができるように、今後も要望事業を進めていきます。



地域役員懇談会（飯田・飯森地区）

追跡レポート

こないだ聴いたことあり
どうなつただやあり



(平成21年6月) 定例会一般質問

問 村出身・所属のオリンピック出場選手の応援体制は。

答 出場選手への激励、懸垂幕の掲出、大会当日応援する会場の設営等を行う方針で検討しています。

その後

白馬村出身者や白馬村スキークラブ所属選手を合わせて6名の選手の出場が決まりました。村、白馬村スキークラブを中心に、大会期間中は、テレビ中継の映像を見ながら応援する特設会場を多目的ホールに設ける他、横断幕や懸垂幕の掲出や小・中・高校生による応援旗の制作等を行います。

問 安曇養護学校への通学方法の要望についての対応と経過、今後の支援は。

答 県にスクールバス運行の陳情をしました。今後も、県、関係市町村、保護者で検討し改善に努めます。

その後

安曇養護学校では、平成22年4月からスクールバスを1台増車し、北部方面は、小谷村まで運行する計画です。

私の思い出



八方 平林 孝三

私は、あのあんずの里千曲市の生まれでもう八十五歳になり十八歳の時海軍航空隊整備兵として志願入隊二年半で終戦復員家は青果商だったので、兄弟で老父の後を引き受けて信州りんごを東京の市場に出荷していました。

ある時、神城、北城地方は果物が出来ない事を知り越冬野菜を小型三輪車で弟と共に十二月初旬だったと思います。車のチェーンも用意せずあの青具峠を小雪のチラつくなかやっと上りきり、堀ノ内の知

人の家にたどり着き一泊させて頂き、朝になったらびっくり五十cmほどの一面銀世界。当時は、除雪車もあまりなく国道のみだったようです。幸い堀ノ内に馬ソリで営業している人が居り、品物は処分してから国道まで三輪車を搬出して頂いた思い出があります。

あれから六十年私達は同じ村で生まれ昭和二十三年三月結婚、苦楽を共にして五十五年前から白馬に住む事になり、有難いことに親戚以上に協力お世話して下さいました。あるからこそ片時も忘れる事はないです。



■議会だより第90号のお詫びと訂正

5ページ1段 3番目の答

ダイオキシン対策は平成21年に行ったのではなく、平成12年です。深くお詫びをして訂正いたします。

夢、私たちに。 わたしのひとこと



リトルリーグ

白馬町 新沢 修一

最近、一年がとて早く過ぎていきます。今年も1月中旬過ぎから、私がお世話になっている「リトルリーグ」が新体制になり、始まります。諸先輩方からご指導をうけながら忙しい一年になりそうです。

子どもたちはというと、野球が大好きと度が過ぎるくらいに熱中していて、見ていてとても気持ちがいいです。

春のリーグ戦から始まり、練習試合、イベント等を秋の雪が降る前までの間子どもはもちろん、野球経験の無い大人までも真剣に一致団結しての一年間です。

長い間ご苦勞していただいている役員、監督、コーチの方々にはとても感謝しています。私にはとうてい真似できるものではありません。

こうして子どもたちが、楽しく野球をいつまでも続けていけるように、(その他のスポーツも同様)できるかぎりの応援をしたいと思います。



還暦をすぎて思うこと

野平 宮島 正博

村の北東部に位置します野平地区で暮らしています。ここからの四季折々の白馬連峰の眺望は素晴らしく、多くの写真家、画家がこの雄姿を題材に訪れています。

野平には昭和39年まで分教場がありました。野平、菅入地区の小学4年生までが通学しておりました。1・2年生が一組で女先生が、3・4年生が一組で男先生が担任をしておりました。当時、両地で40戸位あり生徒も20人位いたと思います。

運動会等学校行事があると本校に行きました。当時の本校生との交流について一句。「野でえらの分教場のつらめしさいじかめるむなあ本校やんども」本校生に肩身の狭い思いだったものです。

時代の流れででしょうか、現在は中込が1戸、野平地区が19戸になりました。昨今の生活様式、経済状況のめまぐるしい変化をみると致しかたない事なのでしょう。

若者が定住し喜んで嫁さんに来てもらえる地区にしないでほしいと思っています。



白馬村に住んで 10年が経ちます

佐野 柴田 みち子

主人も地元ではなく、県外からの移住です。

白馬が好きで憧れ移り住んだ私たちがこの地域で生活できるのは、白馬を守り開いてくれた地元の方々のおかげだと思っています。

私たちも地元の人になじみ溶け込むことから、近所の方たちに仲良くして頂いています。夫婦共に働きながら子育てをする時、近所の助けはとても有難いです。おかげさまで子どもも小学1年・保育園年中とすくすく育っています。顔見知りが増え、子どもの保護者会などで交流の場が広がってきました。アウトドア派の私たちにとって、天候の悪いときに集まり体を動かせる所が有ればなあ…(観光客にも親切なのではないでしょうか?) また、松糸高規格道路が実現し子どもの緊急時に備えられるよう希望します。これからも白馬の住人として希望ある地域にするため元気を出してがんばります!!

編集後記

スキー観光が主産業である当村は、毎年シーズン前の降雪が気がかりです。地球温暖化に伴い異常気象等で災害が発生し、改めて危機感を覚える昨今です。京都議定書は、世界に先駆け温室効果ガス削減目標を提案し、昨年十二月デンマークで開催されたCOP15「コペンハーゲン合意」全体会で、反対意見が相次いだことから「留意する」とどまった。十一月メキシコで開催予定のCOP16で、新たな枠組みが出来るかが焦点となり期待するところです。地球環境保全に努め、未来に贈るべく出来ることから実行したいものです。

太田 修記

議会報調査編集特別委員会

議長	下川 正剛
委員長	田中 榮一
副委員長	渡辺 俊夫
委員	横田 孝穂
委員	太田 伸子
委員	太田 英雄
委員	小林 修
委員	太田 正治

白馬議会だより 91号
平成22年 1月31日発行

発行 長野県白馬村議会
編集 議会報調査編集特別委員会
印刷 ㈲北辰印刷

〒399-9393 長野県北安曇郡白馬村
☎0261-72-5000 FAX0261-72-7001
http://gyosei.willhakkubanagano.jp/gikai/ E-mail gikai@willhakkubanagano.jp